

第 1 学年	技術	使用教科書等	東京書籍「新しい技術・家庭 技術分野」	担当教員	中川 隆
--------	----	--------	---------------------	------	------

【通知表のつけ方】

【学習の目標】 生活や社会で利用されているエネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。年間の発達段階に応じて、技術による問題解決の範囲を生活、学校、地域、社会へと広げ、生徒の技術リテラシー（技術ガバナンス力、技術イノベーション力）を育む。

【授業の進め方や授業のポイントとは何か】 ・技術室での作業時は体操服でもよい。 ・本時の目標の確認（作業内容・安全確認） ・作業（後片付け及び清掃を含む）には、丁寧に根気強く取り組む。 ・振り返り（製作評価シートの記入）を活用し振り返りと次時の課題を確認する。 ・学び合い・助け合いがあれば積極的に参加する。 ・ノートに製作内容や作業方法、工具等の使用についてまとめる。

【どのように家庭学習を進めればよいか】 ・宿題等はありませんが、日常生活の中で授業に関わる項目について興味を持ち探求することができるとよい。

評価の観点	何で頑張りを見るか
知識・技能	定期テスト 製作物 技能テスト
思考・判断・表現	定期テスト 製作物 レポート
主体的に学習に取り組む態度	製作物 製作評価シート 授業ノート

【1年間の授業計画】

学 期	学習する内容	ここで付きたい力	使うもの	学 期	学習する内容	ここで付きたい力	使うもの
1 学 期	・技術分野のガイダンス ・身の回りの材料と加工の技術 ・木材、金属、プラスチックの特性 ・材料に適した加工方法 ・丈夫な製品を作るために	・技術分野の学習に見通しを持つ。 ・身の回りの材料と加工の技術を理解し、まとめることができる。 ・木材、金属、プラスチックの特性を生かした利用方法を理解し、その特性を調べまとめることができる。 ・加工に応じた工具や機器について知り、簡単な製作品を製作することができる。 ・丈夫な製品を作るための方法を知りまとめることができる。	教科書 ノート	2 学 期	・作業の手順を考えて製作しよう ・問題解決の評価、改善、修正 ・材料と加工の技術の最適化 ・これからの材料と加工の技術	・安全・適切な製作や検査・修正ができる。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考える。 ・材料と加工の技術の最適化について考えることができる。 ・これからの材料と加工の技術について考えることができる。	教科書ノート
				3 学 期	・情報のの技術 ・情報のデジタル化 ・情報通信ネットワークの仕組み ・安全に利用するための情報モラル ・アプリケーションソフトの活用	・情報の表現や記録ができる仕組みを理解し、生活や社会がどのように変化したかを考えることができる。 ・4 デジタル化の方法とデータ量の関係を理解し、デジタル化するときの最適な方法を考えることができる。 ・情報通信ネットワークの校正について理解し、情報を利用する。 ・情報の特性を利用して情報を安全に利用でき望ましい情報化社会のためにとるべき態度を身に付ける。 ・ワープロソフト、プレゼンテーションソフトを活用して文書やプレゼンテーションが制作できる。	教科書ノート
2 学 期	・問題を発見し課題を発見しよう ・製品を構想し設計しよう ・製作の計画を立てよう	・技術の見方・考え方を働かせて問題を発見し、その問題を解決するために課題を設定することができる。 ・製作に必要な図の書き方を理解し、図に書き表すことができる。 ・構想に基づいて製作の計画を立てることができる。	教科書 ノート	※定期テストの予定 1学期 期末テスト 2学期 期末テスト 3学期 学年末テスト			